

赤い羽根共同募金運動とは

自分のまちを良くするしくみです

共同募金は「地域福祉の推進」を目的に、地域の高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動や地域で様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられる募金です。

助成計画を立ててから募金(寄付)を集めるしくみです

共同募金は、申請を受け付け、その申請に必要な募金の計画を立ててから、募金運動を展開します。その配分計画に基づき、必要な金額を「募金目標額」として設定した上で募金活動を実施する、他の募金にはみられないしくみです。

約30

地域で集めた募金は、集めた地域で使われています

募金の約70%は、洞爺湖町の地域福祉の推進を目的に、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動をはじめ、地域で様々な福祉課題に取り組むボランティアへの支援に役立てられています。

また、残りの約30%は、私たちの住んでいる地域を超えた、より広域的な課題を解決するための全道規模の活動に使われています。

災害にも赤い羽根共同募金は使われています

募金額の一部は、北海道共同募金委員会において毎年「災害等準備金」として積み立てられており、災害発生時には、災害被災地で速やかに支援活動が行えるようボランティアセンターの開設、運営のための資金として、また被災した福祉施設の復旧支援に使われています。

